

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第24号・2018年4月発行)

発行: (略称) **コミバスをよくする会**
事務局: 辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

【鈴鹿市民のコミバスをよくする会第4回総会】

初めて末松市長を迎えて 総会は満席

無料で、地域のオンデマンド巡回バスと、
マイクロバス型循環バスの組み合わせを提案

2年ごとに開くコミバスをよくする会の総会は、2月21日、社会福祉センターで開かれ、コミバスの会会員と、趣旨に賛同する方を含め約70名が出席し、中会議室は満員で壁際にイスを並べて座ってもらいました。

この総会には、初めて末松市長をお招きし、市長もご多忙の中を参加して下さいました。そのご挨拶の中で、「高齢者の交通困難にたいして、どうしたらいいのかを考えなければならない」と話され、総会参加者に希望の光を与えてくれました。

総会で辻井代表は、会の活動の経過と、会が提案しているオンデマンドバスによる、地域の日常生活を支える地域巡回の交通体系と、鈴鹿市の主要な公的施設や、大型ショッピングなどを1時間で大きく循環する無料バスの組み合わせが、鈴鹿市の地形や人口にふさわしいと提案しました。

また、利用に当たっては、何度乗っても無料で、暮らしに負担の掛からない交通を提案し、地域巡回デマンドバスと、マイクロバス型の大きな循環バスの組み合わせで、誰でも何処へでも行けるようになり、



用事が出来るほか、親しい友達と何時でも会える、優しい交通システムが出来ると話しました。

さらに、このシステムを作り上げる財源は、鈴鹿市が責任を持つことを原則に、利用する方も一年間に3千円程度の利用の権利を負担することも覚悟していることを話しました。

総会参加者からは、市長さんが来てくれて何かホッと安心したという声や、玉城町の「元気バス」について調べた方から、あのようなやり方は理想的だが、鈴鹿市では大きな巡回バスが同時に提案されているので、広い鈴鹿にはこれが良いと思うとの賛成意見や、このやり方をもっと多くの人に知らせることが急がれるという意見などを頂きました。

総会では疑問や反対意見は全くなく、一日も早く実現して欲しいという声何人かから出されました。1時間半ほどの間、意見交換を行い、提案された通り運動を続けることを決めて終わりました。

今年度は、さらに大きな盛り上がりを作りだし、生活交通バス実現への道を切り開いて行きましょう。

★鈴鹿市に、無料のオンデマンド巡回バスが出来たら、古くなった自家用車は、手放しても良いかなと考える人が増えるのではないかと思います。

★鈴鹿市に、無料のオンデマンド巡回バスが出来たら、古くなった自家用車は、手放しても良いかなと考える人が増えるのではないかと思います。

★自動車会社は、事故防止に車の改善を研究しはじめました。衝突寸前にブレーキが掛かる車。近づきすぎると警報音が鳴って気付きを助ける車。ハンドル操作は不要になってカーナビに入力すると目的地まで走ってしまう車など、アイデアはとて面白いですね。

★しかし、年金暮らしや子どもの扶養になっていく場合は、車の買い換えは夢のまた夢、今ある車を乗りつぶすまでと言う方が多いのも事実です。

★運転免許更新時に、身体の動き、反射神経、視力と視野などの検査が行われますが、少々鈍っても車がないと生活できないから、高齢者も免許更新が望みです。

★運転免許更新時に、身体の動き、反射神経、視力と視野などの検査が行われますが、少々鈍っても車がないと生活できないから、高齢者も免許更新が望みです。

発車オーライ

★最近の
テレビ報
道は、高

免許を返納しました。 どこへも出がけられません。

一昨年、主人が高齢(96才)のため、免許証を返納致しました。以来足がないため、病院、買い物などとても困っています。どこへも出られません。

子どもがタクシーを使えと言いますが、とてもその様な気分になれません。週に一度、長男(岐阜)、長女(菰野)が来てくれますが、今はそれが頼りです。

市民の 声



■高齢者に、運転免許に、鈴鹿市はお粗末。行政でも手を打って下さい。

①現行の三交バス、本数も少なくなり、利用価値はゼロに近いです。②Cバス(黄色)一部地域に限定されており、市内循環の心づかいなし。

■高齢化に伴い、認知症による生活変化が避けられない方々が多くいらっしゃいます。皆さん、家族に負担を掛けたくないと言われます。買い物、病院への移動手段として、生活を充実させる道具として使えるように整備して頂きたいと思います。

理解と関心を示してもらった、末松市長との懇談

昨年、12月26日、末松則子鈴鹿市長と私たち「コミバスをよくする会」代表らによる懇談の場を持つことができました。

「交通弱者」の立場に立った運動を長年にわたって続けてきたその思いと、具体的な提案を市政のトップに直接届ける機会が持てたこと自体、大きな成果であったと思います。

今回の懇談に至った背景には、「コミバスの会」に寄せられたオンデマンド交通に期待するアンケート結果をはじめ、これからの高齢化社会にふさわしい交通のあり方を望む多くの市民の要求があると考えます。

45分という限られた時間ではありましたが、終始なごやかな雰囲気のもとで率直な話し合いがおこなわれ、有意義な懇談になったと思います。

塩浜街道に走る車がありませんので、バスを通してほしいです。買い物は近くにあるマックスバリュが唯一のお店ですが、毎日同じ物しかありません。神戸、白子、楠、四日市など、今までのように動きません。電車という方法もありますが、昨年骨折して3ヶ月入院、その後、歩くのがとても大変になりましたので、駅まで、駅から歩くという方法はとても困難です。バスがほしいです。5、6人乗れる小型の自動車で1週間の中の何日か、どの方面に行くというような方法でもよいと思います。(長太町)

■今年11月で77才の夫は常日頃から運転免許証の返納は思っていますが、運転のためにも引きこもりを防ぐためにも、何等かの形で社会と関わって生きていきたい。(高齢者の外出促進)

■鈴鹿市の中でも石薬師地区は高齢者率が最も高い。その中でも上田町地区は主たる道路から外れており、マイカーにて外出や買い物をせざるを得ない。町内でも良く見かけることであるが、のろのろの車に出くわすと、高齢者が運転している。最近ニュースは高齢者の事故が多い。現状からして最初は利用者は少ないと思うが、次第に増えて行くと思う。免許証返納にも続いて行く。即効果は現れないと思うが長い目で見たい。



私は鈴鹿市の交通体系をめぐる現状において、公共交通網の整備が遅れていることや免許返上などをした高齢者の「足の確保」が十分とは言えない実態など、多くの改善すべき点のあることを末松市長に基本認識していただいたことで、まずは問題共有がなされたと思いました。そのうえで、将来ビジョンの一つとしてわたしたち「コミバスの会」が提案しているオンデマンドバス交通に一定の理解と関心を示してもらったという感触をえました。これからも引き続き運動を広げて行きましょう。(谷口 茂)